

♪ 第19回 出雲ドーム 2000人の吹奏楽 ♪

～ドームに広がり！2000人の元気・笑顔・夢！！～

と き／9月11日（土）
開 演 17:30（開 場 16:30）

と こ ろ／出雲ドーム

出 場 団 体／保育園1、小学校11、中学校11、
高等学校14 ※特別ゲスト除く

特別ゲスト／京都橘高等学校 吹奏楽部
(2009年度全日本マーチングコンテスト金賞受賞)

チ ケ ッ ト／大 人 1,800円（当日 2,000円）
小学生～高校生 800円
(当日 1,000円)

市内プレイガイド

アツタ楽器、ジャスコ出雲、パラオインフォメーション、ラピタ本店、ゆめタウン出雲、出雲ドーム、市役所文化スポーツ課



出雲ドーム内の駐車場には限りがあります。
島根森紙業株式会社（浜町453）発着のシャトルバスをご利用ください。

☆無料シャトルバス

- 往 路
島根森紙業株式会社 → 出雲ドーム
16時～18時30分 随時運行
- 復 路
出雲ドーム → 島根森紙業株式会社
20時～21時 随時運行

☆交通規制

- 日時／9月11日（土）
15時30分～22時
- 規制区間／出雲ドーム
外周道路（ドーム北側・東側・南側）を一方通行



会場周辺の店舗・私有地などへの
無断駐車は絶対にやめてください。

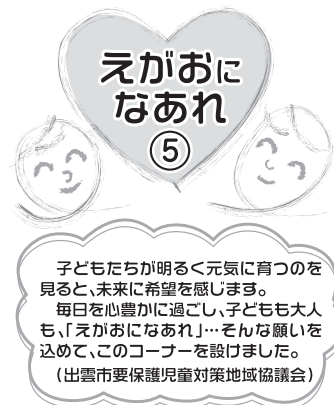
おたすね／実行委員会事務局（文化スポーツ課内）TEL 21-6514

それは、今年に入り、管内の子どもたちによる犯罪（特に万引き）の増加があり、そのことを一人ひとりに考えてほしかったからです。

警察署に補導された子どもたちは、安易な意識や行動から罪につながる例も多いのです。きつと、犯行の最中に見つかってはいいけないという気持ちが行先し、被害者や保護者に気持ち及ぶにいけないのかもしれない。そして、補導の後、「あんなことをしなければ

出雲警察署では、昨年7月に市内で発生した、少年による触法事件を受けて、管内の小中高生に対し、「こんなことでもいいから相談して欲しい。あなたはひとりじゃないよ」というメッセージを込めた、署長からの手紙を贈りました。そして今年も夏休み前に子どもたちに向けて、手紙を贈っています。

「警察署長からの手紙」 ～出雲警察署からのメッセージ～



今年7月2日に市内高等学校にて行われた、成木副署長による「署長からの手紙」の伝達式の様子です。生徒たちの心に届いたことでしょう。

「よかった」と後悔するのです。
子どもたちが誤った判断に至る前に考えてほしいことが3つあります。

- ・ 誰もが社会の中の大切なひとりであること。
- ・ 非行の陰には、必ず怒り悲しみ被害者が存在すること。
- ・ そして、保護者は揺るがない愛情と強い信頼をもって子ども自身を育てていること。

いすれ夢に向かって社会へ羽ばたいていく子どもたち。家庭や地域の方が、それぞれのスタンスで厳しくも温かく見守り、絶えず支えていくことが子どもたちの健全育成へと繋がるのだと思います。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

いずもの話題

izumo no wadai

島根大学と包括連携へ

出雲市と国立大学法人島根大学は、8月4日（水）、包括的連携協定を締結しました。

これまでも、島根大学とは医療分野などで個別に協力連携を図ってきましたが、今回の協定により、まちづくりや産業振興、人材育成などさまざまな分野で包括的な連携を図っていくこととなります。

協定書に署名した島根大学の山本廣基学長は「今回の連携により、より一層地域社会の発展に寄与していきたい」と述べ、また、長岡秀人市長は「これまで取り組んできた連携から、さらに、農商工連携による産業振興や出雲ブランドなどの地域戦略など今までにない事業でも、知識・アドバイスなどをいただきたい」と連携による期待を述べました。



▲調印後、握手する長岡市長と山本学長
(8月4日、市役所にて)



秋の味覚を一足早く

多伎いちじく館で7月27日、特産のいちじくの初収穫式がありました。

昨年開館した多伎いちじく館では、実証試験栽培として、コンテナ内に養液を注入して育てる方法により栽培しており、今回収穫したものは、加温ハウ

ス内で栽培したもの。昨年より15日早い収穫を迎えました。

この日収穫されたいちじくは、糖度20度前後で、露路栽培のものより2度から3度糖度が高く、甘みは抜群。多伎いちじく館では、販売とともに、有料の収穫体験も行っています。

また、「多伎いちじく」の出荷出発式も8月23日に行われるなど、これから本格的ないちじくのシーズンを迎えます。

